

雲の上のまち



た報

ゆすばら



茶や谷部落 虫送り (6月29日)

7 **2013**
〈平成25年〉
No.661
月号

●世帯数/1,767 (5月初)
1,773 (6月初)
●人口/3,749 (5月初)
3,746 (6月初)
○出生… 2 ○死亡… 4
○転入… 7 ○転出等… 4

●発行所/高知県高岡郡梶原町役場 tel.0889-65-1111

●発行兼編集/梶原町広報委員会

●印刷所/(有)中島出版印刷



環境にやさしい"SOY INK"を使用しています。

第14回 第5回 梶原町社会福祉大会 けんこうの集い

テーマ 梶原千百年、梶原の健康文化を考えよう

6月23日(日)「梶原町社会福祉大会・けんこうの集い」が開催され、町内外より420名を超える方々が参加されました。

今年、梶原誕生千百年の節目の年にあたることから、一世紀にわたり本町の文化を守り築いてこられた100歳以上の元気高齢者の方々が受賞されました。

また、地域や家庭において福祉活動に貢献された、7名の方が受賞されました。

社会福祉大会表彰

「地域福祉部門」

横貝 川上富子様
平成15年以来、長きにわたり、ご家族の介護に努められており、在宅介護の模範となる。

「健康づくり部門」

永野 中越洋子様
平成11年以来、長きにわたり、ご家族の介護に努められ、在宅介護の模範となる。

「ボランティア部門」

坂本川 永橋信弘様
平成19年以来、四万川いきいきふれあい広場の運営委員として、地域の高齢者との交流と絆を大切にする活動を続けられ、地域福祉の向上に貢献された功績。

仲久保 下村道子様

平成17年以来、長きにわたり、ご家族の介護に努められており、在宅介護の模範となる。

松原 吉村正三様

平成13年以来、松原サテライトデイサービスにおいて、地域の高齢者との交流と絆を大切にする活動を続けられ、地域福祉の向上に貢献された功績。

六丁 中越幸代様

平成19年以来、健康づくりの地域リーダーとして、地域住民の体と心の健康づくりに取り組まれている功績。

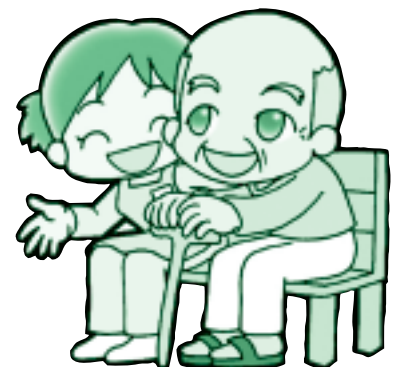
下西の川 西村義夫様

20年以上の長きにわたり、地域の高齢者への声かけなど、見守り活動を積極的に続けられた功績。

特別表彰

100才以上元気高齢者

- 田野々 中平 豊見様 (102歳)
- 川西路 下元トモエ様 (101歳)
- 富 永 廣瀬 文子様 (100歳)
- 富 永 氏原 浪子様 (100歳)





歌手活動だけでなく、エッセイスト、日本ユニセフ協会大使など世界を舞台に活躍されているアグネス・チャン氏を講師にお招きし、心の健康についてお話をいただきました。

第5回けんこうの集い「特別講演」
演題 明るくさわやかに生きる
講師 アグネス・チャン氏

参加者の声
「大変なことを明るく話す彼女から元気をもらった。」
「検診の大切さを改めて学びました。」
「涙ができました。今日一日を大切に生きたい。」

アグネス・チャン氏は、自らが乳ガンを患った体験について話され、「自分はガンのリスクは低いと思っていただけに、ガンが分かったときは悔しくて涙が出た。」日本の女性には自分のことを後回しにするが、まずは自分の健康を守る事が大切」と早期発見のための検診を呼びかけられました。また、「検診を受けていても病気になるってしまうこともある。その時は一人で抱え込まないで、周りの人に相談して欲しい。」と話し、最後には、素晴らしい歌で締めくくられ、会場はその美しい歌声に魅了されました。



梶原病院院長 内田望氏、慶應義塾大学教授 伊香賀俊治氏、首都大学東京教授 星旦二氏、健康文化の里づくり推進員8期生会長 戸梶庄美氏の4名が、いくつかのテーマに沿ってフリートークを行いました。



開会前イベントの様子

『1番幸せを感じる時は?』のテーマでは、「食べること」や「梶原のお客」「今ここに自分が一番幸せ」との回答があり、コーディネーターの内田院長が「皆さんにとって、幸せを感じる時はいつですか?」と会場の参加者に問いかける場面もありました。また、『こんな検診あったらいいな!』のテーマでは、「痛いマシモグラフィ検診」



最後には「元気!おもち帰り」ということで、盛大に餅まきを行い閉会となりました。

「健康文化の里づくりプロジェクト」
フリートーク

「バリウムがどぶろく」「日々、自動健診」などユニークな回答に盛り上がりました。最後には『あなたにとって命とは?』のテーマもあり、終始楽しく、また生命の大切さを会場の参加者と一緒に考える時間となりました。

お疲れさま でした 町内一斉清掃

毎年、恒例となっております町内一斉清掃が、今年も6月16日(日)に実施されました。

当日は、天候にも恵まれ各区長、部落代表の指揮のもと町道の草刈り、側溝上げ、河川の草刈り、ごみ拾い等をそれぞれの地区で実施して頂きました。当日は各戸最低1名の参加で、小中学生や教師、ボランティア、企業の方などの参加も含め、約2000名のご協力がありました。



午後は、ほとんどの部落で部落会や懇親会等を行い、楽しい交流の時間を過ごしました。

当事業により、地域ごとの結びつきを強め、四万十川源流域である本町のすばらしい自然、環境に気づき、守ることの大切さを改めて確認できました。今後においても町内美化にご協力頂きますようよろしくお願い致します。



第63回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

社会を明るくする運動強調月間初日の七月一日に啓発活動の一環として町内パレードを実施しました。

社会を明るくする運動とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人達の更生について、理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

成長過程でつまずいてしまった青少年を地域全体で温かく見守り、育成していくとともに、社会復帰に様々な困難を抱える者が再び過ちを繰り返さないよう地域の中に「住居」と「就労」などの生活基盤を確保することが重要となってきました。

これには、何よりも地域の方々の、地域に対する思いと積極的な参加、まさしく「地域のチカラ」が必要であります。安全で安心な暮らしをかなえるために、今何が求められているのか、そして自分には何ができるのかをみなさんで考えてみませんか。

梶原町保護司会



マダニに注意!



フタトゲチマダニ
(写真：国立感染症研究所)

県内において、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）と考えられる2例目の症例が確認されました。この病気は多くの場合、ウィルスを保菌しているマダニ（フタトゲチマダニ等）に咬まれることにより感染します。

特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれないように注意してください。

マダニとは

マダニは食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウダニなど家庭内に生息するダニとは種類が異なります。

マダニは、堅い外皮に覆われた比較的大型のダニ（吸血前で3〜4mm）で、主に森林や草地等の野外に生息しています。日本全国に分布し、市街地周辺にもみられます。

マダニによる感染症の症状

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

（咬まれてから6日〜2週間後に発症）
発熱と食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛などの消化器症状がみられます。時に頭痛、筋肉痛、呼吸器症状（咳など）、出血症状（紫斑、下血）を起こします。
ダニが刺した痕（刺し口）がみられます。

●日本紅班熱

（咬まれてから2日〜8日後に発症）
高熱や倦怠感、頭痛、悪寒を伴い米粒大から小豆大の赤い発疹が出ますが、かゆみや痛みを伴わないのが特徴です。
ダニが刺した痕（刺し口）がみられます。

感染を予防する方法

マダニに咬まれないようにすることが重要です！

農作業や庭仕事、レジャーなど野外で活動する際には、次のことに気をつけてください。

- 長袖、長ズボンを着用して肌の露出を避け、すそを入れ込んでダニの付着を防ぐ。
- 肌が出る部分には、防虫スプレーを噴霧する。
- 地面に寝転んだり、腰を下ろしたりしない。
- 作業後は、体や服をはたき、ダニに刺されていないか確認する。
- 吸血中のマダニを見つけた時は、できるだけ医療機関で処置する。

※無理にマダニを引きはがそうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあります。

【問合せ】高知県須崎福祉保健所 衛生環境課 TEL:0889-42-1999

屋外広告物について県からのお知らせです

違反広告物を一斉撤去します

毎年9月1日から9月10日までは、「屋外広告物適正化旬間」です。

ポスターや広告塔など、屋外で常時又は一定期間継続して表示される広告物は、情報伝達の手段としてだけでなく、街に賑わいを与えてくれます。しかし、無秩序に表示されると、美しい街並みや自然景観が損なわれるだけでなく、落下や飛散による危害が予想されます。そのため、県では、条例によって、大きさだけでなく、広告物が出せない地域や、許可が必要となる地域を定めています。

今年は、9月10日に、県内各地で一斉に違反広告物の除去を行います。屋外へ無許可で出している「はり紙」・「はり札」などの違法広告物を除去し、破棄します。

美しい街並みのためには、みなさまのご理解とご協力が必要です。よろしくお願いします。

【屋外広告の広告主および広告業者のみな様へ】

広告を出されるときは、最寄の土木事務所（注意：高知市内は高知市役所）までお問い合わせください。

また、県内で屋外広告物業を営む方は、登録が必要です。



愛するこのまちを私が守る。～警察官B採用試験～

高知県警察では、次のとおり警察官の募集を行っています。
 将来の高知県警察の担い手となる、熱意とやる気のある貴方の応募を待っています。

- ★受付期間 8月19日(月)～9月3日(火) ★第一次試験 10月20日(日)
- ★受験資格 昭和58年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人。ただし、学校教育法による4年制の大学等を卒業した人、及び平成26年3月31日までに卒業見込みの人は受験できない。
※申込書は、須崎警察署又は最寄りの駐在所にありますので、受験を希望される方はお寄りください。

採用に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

高知県警察本部 おまわりさんに、さあなろう
 警務課人事係 088-826-0110 ☎ **0120-032376**
 須崎警察署 0889-42-0110

平成25年度 自衛官等募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日	合格発表
防衛大学校学生	一般	前期:9月5日～9月30日	1次:11月9・10日 2次:12月10～14日	1次:11月29日 最終:26年1月21日
		後期:26年1月22日～26年1月31日	1次:26年3月1日 2次:26年3月13日	1次:26年3月7日 最終:26年3月20日
		9月5日～9月9日	9月28・29日	11月1日
			1次:9月28日 2次:11月2・3日	1次:10月18日 最終:11月29日
防衛医科大学校 医学科学生	高卒(見込含) 21歳未満	9月5日～9月30日	1次:11月2・3日 2次:12月18～20日	1次:12月3日 最終:26年2月19日
			1次:10月19日 2次:11月30日及び12月1日	1次:11月15日 最終:26年2月7日
			航空学生	8月1日～9月6日
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満	8月1日～9月6日	1次:9月16日 2次:10月5,6日(内1日)	1次:9月30日 最終:11月8日
自衛官候補生(女子)			9月24日	11月8日
自衛官候補生(男子)			年間を通じて行っています	9月16日(学科、適性) 口述、身体検査日は別示

※お問い合わせは市町村窓口、または下記へお気軽にどうぞ。パンフレット等もご置きます。
 〒785-0041 自衛隊須崎地域事務所 須崎市西崎町325-2 TEL(0889)42-7186

法人土地・建物 基本調査のお知らせ

本年7～9月、「平成25年法人土地・建物基本調査」が実施されます。
 調査結果は土地に関する諸施策の基礎資料等として幅広く活用されます。
 調査対象法人の皆様には、土地・建物を所有していない場合も含め、ご回答をお願い致します。
 (インターネットによる回答も可能です)

保管物件(通貨・証券等) の返還について

税関では、終戦当時に外地から引き揚げて来られた方からお預かりした通貨・証券等をお返ししています。お心あたりのある方は、税関までお問い合わせ下さい。

高知税関支署
 住所:高知市棧橋通5-4-55 高知港湾合同庁舎内
 電話:088-832-6131 FAX:088-832-6132
 E-メール:kobe-kochi@customs.go.jp

須崎出張所 電話(FAX):0889-42-0333

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

加入できる事業主……建設業を営む方
対象となる労働者……建設業の現場で働く人
掛金 ……日額310円

特徴

- 国の制度なので安全、確実、申し込み手続は簡単です。
- 経営事項審査で加点評価の対象となります。
- 掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
- 事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。
- 自社の福利厚生に便利な提携施設の割引サービスが利用できます。

知っていますか？
建退共制度

建退共制度の特例措置のお知らせ

建退共では、地震等により災害救助法が適用された皆様に対し、各種手続の特例措置を実施しております。

ホームページ「建退共」に、制度説明用動画、Q & Aなど、建退共制度の知りたい情報が記載されています。ぜひ、アクセスしてご覧下さい！
※詳しいことは、最寄りの建退共支部へお問い合わせ下さい。

建退共

検索

実施地域

【広域地域】

- ①旧満州
- ②西部ニューギニア
- ③アツツ島
- ④旧ソ連
- ⑤中国（1次）
- ⑥マリアナ諸島
- ⑦東部ニューギニア（1次）
- ⑧ボルネオ・マレー半島
- ⑨トラック・パラオ諸島
- ⑩ソロモン諸島
- ⑪フィリピン（1次）
- ⑫ミャンマー・ベトナム（1次）

- ⑬台湾・バシー海峡
- ⑭東部ニューギニア（2次）
- ⑮ミャンマー・インド（2次）
- ⑯フィリピン（2次）
- ⑰中国（2次）

【特定地域】

- ①ビスマーク諸島
- ②西部ニューギニア
- ③マーシャル・ギルバート諸島

戦没者遺児による慰霊友好親善事業
日本遺族会は、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。同事業は、厚生労働省から補助を受け実施しており、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善をはかることを目的としています。費用は、参加費として9万円。日程等の詳細は、日本遺族会事務局 03・3261・5521まで。お申込は、お住まいの各都道府県遺族会へ。

子どもを水の事故から守ろう！

いよいよ、水に親しむシーズンとなり、海や川などで子どもたちの水遊びが盛んになってきます。

例年、この時期には、子どもたちの痛ましい水の事故が多くなることから、警察では7月と8月の2か月間を「夏期における水難防止期間」として、子どもを水の事故から守る活動を行います。

昨年、県下では、この期間中に15件の水の事故が発生し、7人が亡くなり、1人が負傷、9人を無事救助しています。このうち中学生以下の子どもの事故については、3件発生し、2人が亡くなり、1人を無事救助しています。昨年発生した子どもの事故は、いずれも「水遊び中に溺れた」というものでした。

今年も子どもを痛ましい水の事故から守るため、次の点に注意してください。

- 水の怖さの再確認を！
- 危険な場所の点検を！
- 子どもだけの水遊びには注意を！
- ライフジャケットの着用を！
- 幼児から目を離さない！

子どもを水の事故から守るためには、地域ぐるみでの安全パトロールや子どもへの「声かけ」などの安全対策を進めていくことが大切です。

危険な場所や危険な水遊びについてお気付きのことがあれば、気軽に近くの警察署、交番、駐在所又はパトロール中の警察官に連絡してください。痛ましい水の事故から子どもを守るために、地域の皆様のご協力をお願いします。

須崎警察署



栲原こども園だより

毎日元気いっぱいの子ども達。汗をかきながらも動いて・喋って・食べて・寝て、集団の園生活を活発に過ごしております。地域の皆様には散歩に出かけると声を掛けてもらい、体験行事に参加協力いただき、いつも気に掛けてもらっておりますことに感謝しております。ありがとうございます。

毎日の遊びがお勉強!!

この頃の子ども達の笑顔と共に、子どもの育ちや保育（教育）の思いを載せさせてもらいたいと思います。

1歳児▶自分で何かをしようとしているときは、大人を困らせることがあっても温かく見守ってあげてね。甘えたい気持ちを十分満たしてやりながら、自発性の芽生えを大切に育てていこうね。



2歳児▶「イヤイヤ」も自我の順調な育ち。自分でやろうとする気持ちを大切に、出来た時にはたくさん褒めてね。



3歳児▶自我が発達してはくるものの、自分の気持ちをうまく表現したり、行動に表したり出来ないときもあるので、こどもの気持ちを優しく受け止めながら関わっています。



4歳児▶友達と一緒に行動することを喜ぶ一方で、友達との関係で悩む時期でもあり、子どもの気持ちを共感的に受け止めて、葛藤を乗り越えられるように援助しています。



5歳児▶地域や色々な人との関わりを大切にしながら、交流活動を多く取り入れています。また、友達との関わりの中で、食い違いやうまくいかない経験を通して、友達と工夫したり折り合いをつけたりしながら、自分達で解決しようとする姿を大切にしています。



梶原学園だより 第22号

書く力を育てる視写タイム ・小社会・天声人語



今年度から、梶原小学校でも視写タイムをはじめました。これは、すでに中学校で始めていた天声人語ノートへの取り組みを見直し、6・7年生で「小社会」に挑戦し、8・9年生で「天声人語」ノートを活用した意見文を書くという一貫教育プログラムの一つとなるものです。

小学校の早い段階で「文章を正確に写しとる力や書くきまり、書くスピード」を身につけることは中1ギャップをなくし、スムーズに中学校の勉強ができるというだけでなく、子どもたちの未来の姿を小学校



と中学校の立場から相互に話し合う小中一貫教育校ならではのものとなることと期待しています。

現在、正確、丁寧に1年生は10分間で80字、2年生は10分間で150字、3年生は10分間で200字、4年生は10分間で250字、5年生は10分間で300字、6・7年生は小社会ノート、8・9年生は天声人語ノートに正確に丁寧に視写し、意見文を綴っていくことを目標にしています。

もちろんこれには保護者の皆さんの協力がなければ成し遂げられませので、「自立ノート」とともに協力し合って取り組んでいます。



8月20日(火)には5・6年生による梶原町水泳記録会が開催されます。自己の記録に挑戦し、自分たちの泳力を伸ばしてほしいと思います。皆様の応援よろしくお祈りします。

5月30日(木)から7月11日(木)まで各学年7回の水泳の時間がはじまりました。

今年も雲の上の温水プールで掛橋さんから5名の指導員の方々と楽しく、泳ぎ方の勉強をはじめました。

プールでは子どもたちの歓声が響きわたる中、「今年は25m泳げるようになりたい。」と目標をもって頑張っている子どもたちもいて、低学年から大プールに挑戦している姿もみられていました。

楽しい水泳がはじまりました



栲原人から学ぶ おもてなしの心



6年生は今年も神在居の棚田を活用した農業体験を行いました。お世話になっっている新谷さんの指導のもと、5月9日に「荒おこし」、30日には「田植え」、6月18日には「草取り」を行いました。

88の手間をかけ、おいしいお米を11月のウェルカムコンサートには販売し、その売上げを使って、収穫・感謝祭としてお世話になった地域の方々をお招きし、栲原人から学ぶおもてなしの心を伝えていきたいと思えます。

地域の人や出会いを通して

6月27日、8年生は今年も夢未来館で5月に行われた「職業体験学習」の発表を行いました。この報告会には、地域の人やものとの出会い、体験することを通して、「郷土を愛する心」をもち、「働くことの意義」について考える機会にしてほしいという願いが込められています。

活動している子どもたちの報告の写真やふりかえりから、子どもたちがい

きいと学び、気づき、感じ取っている様子がうかがえました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

本当にありがとうございました。



梶原高校通信

梶原人の伝統的な生活について

今回は3月の生活についてお話しします。

まずは、3月3日です。3月3日は今と同じで雛祭りがありました。今ほどの家庭でも雛人形を飾る風習がありますが、昔は少し違っていたそうです。裕福な家庭では雛人形を飾りますが、そうではない家庭では雛人形を飾ることができず、代わりに着せ替え人形を作りました。人形は子どもたちの手作りです。それは頭と身体の芯を綿で作り、それに白い布をかけて顔などを書き込んだものでした。髪の毛は去年採れたとうもろこしの鬚を黒く塗ったものです。着物も、古くなった着物の切れなどを子供なりに切って、着せ替えます。驚いたことにその着せ替え人形は、着せ替えと言いつつも、服を交換するのではなく頭の綿にひごで首をつくり、それを差し替えて遊ぶ人形でした。

雛祭りの日は、女の子みんなが「今日はお雛様よ」と言われていたそうです。

他には今と同じように雛祭りの歌を歌い、雛あられを食べたり、五目御飯やお赤飯を作って食べたりしました。雛あられはお餅をお母さんが煎って作ったものでした。

3月17日〜23日の1週間はお彼岸です。お彼岸の中日は先祖に感謝する日で、それ以外の残りの6日は彼岸（仏様のいる世界）に近づくための仏教の教えを1つずつ修得していく日であると言います。一般的に中日にお墓参りをする人が多かったそうです。特に彼岸の入りにはお墓に行ってきたらしく、お墓参りはしませんでした。お墓参りの時には彼岸筒（青竹を長さ10〜15センチ程の長さで切ったもの）に、仏式ならば櫛（しきび）を、神式ならば榊（さかき）を、

かき）を差し、塩と米をお供えして、お祈りします。

お墓参りの後は、ぼた餅などを食べてお茶をします。ぼた餅は秋になるとおほぎと呼び方が変わります。それはそれぞれの季節に牡丹の花、菘の花が咲くからなのだそうです。

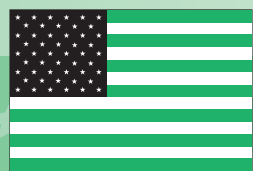
ここで、一句
「切りたての 青竹匂う 彼岸筒」(辰子)
ちなみにお彼岸とは正式には「彼岸会」というそうで、春分の日と秋分の日の前後3日間を合わせた7日間を指します。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、春分のころは種まき、秋分のころは収穫の季節となります。極楽浄土は西方にあるという言い伝えがあり、太陽が真西に沈むこの頃にお墓参りをしたそうです。

3月末にはジャガイモを植えます。ジャガイモの植え付けも子供が手伝っていました。ジャガイモは約3カ月という早さで収穫できるため、多くの家庭で作っていました。ジャガイモは調理も多彩で、食料としても貴重だったので、大きいものは半分は切り、切りに灰をつけて植えました。伊藤さんが小さい頃には小学校のお茶当番があり、そのときにジャガイモをおこした火

の中に入れて焼いて食べていました。これが楽しみで、お茶当番になるのがうれしかったということです。

インタビュー・文 西森七菜
佐伯志保
絵 西森早梨





栲原学園ALTだより

ステファニーのコーナー



アメリカと銃

アメリカを離れて日本に来てから、私の愛する母国が自然および人為による災害や惨事に見舞われています。大型ハリケーンのサンディ、化学工場爆発、ボストンマラソンでの爆破テロや小学校での銃乱射に至るまで、アメリカはわずか1年の間に破滅的な事件が多く起きています。おそらく最も衝撃的だったのは、アメリカ各地で老いも若きもが命を落とした銃撃事件と爆破テロ事件でしょう。インターネットの利用のためか、殺人予告は減少しているようには見えません。しかし、なぜアメリカではこのような銃の問題が生じているのか、多くの人が疑問に思うことでしょう。多くの国々において規制されているように、銃はインターネットからの情報とは違い、規制可能な財産です。ここで、アメリカ人の心とアメリカの政治制度に対する私なりの考察をさせていただきます。

現代アメリカの社会体制は非常に新しいものです。今年7月4日の独立記念日で、アメリカの歴史は236年となります。そのような歴史にもかかわらず、アメリカ人は創設者の考えに執着しています。とくに、憲法に対するこだわりを強く持っています。つまり、1787年9月17日に改正(または変更)されたアメリカ合衆国憲法、権利に関する宣言も含まれます。権利に関する宣言は人々の権利を保証しており、現在、宣言する権利の数は27です。これらの権利の一部はアフリカ系アメリカ人の奴隷制度の終焉(A 13)、女性の参政権(A 16)、言論の自由の保証(A 1)またはアルコール飲料の規制撤廃(A 21)を含んでいます。最も紛争した憲法改正条項は、2回目の改正時においてです。それが「武装する権利」についてでした。アメリカが創設される前に、イギリスの王は市民が銃を所持しないように規制していました。植民地が反乱を起こしたため、このような規制はおそらくイギリス側の予防措置であったのでしょうか。反乱は、その当時のアメリカ市民が民兵として高い能力を有していること、つまり、訓練されていない男性においても、自主的な武力を有しており、必要に応じて民兵が形成されていたことを意味します。武装する権利が認められたのは、このような目的のためです。現代においては、アメリカ人は世界で最も多く銃を所持しており、戦争をビジネスにしています。また、銃を必要とする人々の間で絶え間ない衝突があり、彼らはさらなる銃の規制および利用条件の強化を望んでいません。

現在は、誰でも気軽に銃器店へ立ち寄ることができます。銃の購入の際に理由や用途を尋ねられることはありません。それは、銃支持派が「市民に武器の保有と携帯の権利を与える合衆国憲法修正第2条の権利」を主張するためです。つまり、ある部分において、この信念こそが銃の根絶を難しくしており、銃を普



及させています。なぜアメリカ政府はこのような事態を阻止しないのか、疑問に思うことでしょう。それは、アメリカの二大政党制という政治体制と政治資金を持つロビイスト(※)に原因があります。来月号では、アメリカの政治制度が、銃の議論を複雑にしている理由を説明したいと思います。

※ロビイスト…政府の政策に影響を及ぼすことを目的とし、特定の主張をもって政治活動を行う人物

第15回高知県 障害者スポーツ大会



第15回 高知県障害者スポーツ大会に出場しました
6月2日(日) 春野陸上競技場で、障害者スポーツ大会が開催され、梶原町を代表して3名の選手が競技に参加しました。
当日はあいにくの空模様でしたが、選手の方々は日ごろの練習の成果を十分に発揮され、素晴らしい成績を残されました。結果は次のとおりです。

氏名	種目	順位
宮本 友和	陸上 5000m	1位
	ジャベリックスロー	1位
川上 晴壽	100m 男子 (車いす)	1位
橋岡 時雄	ソフトボール投げ	1位



100mを車いすで走る川上さん



ターボジャブ(やり)を投げる宮本さん



町長室にて結果報告



ソフトボールを投げる橋岡さん

8月の保健福祉支援センター行事予定

- | | |
|---|---|
| 1日(木) 西区いきいきふれあい広場(西の川) | 23日(金) 四万川区いきいきふれあい広場
東区いきいきふれあい広場 |
| 5日(月) 松原サテライトデイ
げらげら家族会
(認知症を介護する家族の会:総合福祉センター) | 27日(火) 松原区いきいき百歳ころばん塾① |
| 8日(木) 越知面区デイサービス友の会 | 28日(水) 初瀬区、東区総合健診
(川西路・太郎川・神在居・仲洞・豊原・川井・川口) |
| 9日(金) 四万川宅老所 | 29日(木) 東区総合健診
(下後別当・大蔵谷・飯母・町組) |
| 13日(火) 献血 | 30日(金) 西区総合健診 |
| 15日(木) 第18回平和の礎に感謝する集い | ※毎週月曜日 ゆすっ子相談センター相談日 |
| 19日(月) あゆみの会 | ※毎週水曜日 陽だまり、育児サークル |
| 20日(火) 初瀬いきいきふれあい広場
(高齢者合宿施設はつせ)・愛育相談 | ※毎週水曜日(ただし14日はありません):予防接種日
不活化ポリオ、三種混合、四種混合、麻疹・風疹、
BCG、日本脳炎、子宮頸がん、
ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン |
| 21日(水) 人権相談 | |



第26回全国健康福祉祭こうち大会 ねんりんピックよさこい高知2013

平成25年10月26日[土]～29日[火]

●●●● 長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流 ●●●●

ねんりんズ&くろしおくん来町

6月23日(日)、ゆすはら・夢・未来館で「第14回梶原町社会福祉大会・第5回けんこうの集い～梶原1100年、梶原の健康文化を考えよう～」が開催され、ねんりんズとくろしおくんが、ねんりんピックよさこい高知2013のPRを行いました。

くろしおくんが競技の紹介を行い、来場者の皆さんと一緒にねんりん・こうち体操を行いました。



ねんりんズ&くろしおくん PR 風景



左/くろしおくん来町



四万川いきいき体操風景



西の川いきいき体操風景



松原サテライト体操風景

マラソン交流大会一般参加選手募集

ねんりんピックよさこい高知2013マラソン交流大会一般参加選手の部の参加申込が、6月18日(月)～8月30日(金)の日程で行われております。

太郎川公園から旧道を通り、役場をゴールとする3km、5km、10kmの3コースで競技が行われます。参加資格としましては、18歳以上(高校生不可)で参加コースで完走できる方ならどなたでも参加いただけます。

なお募集人数は586名の先着順としております。募集人数を超えた場合はその場で申し込みを終了させていただきます。

詳しい情報につきましては、保健福祉支援センターねんりんピック推進室まで問い合わせください。皆様のご参加お待ちしております。

ニューヨークから ふるさと梶原へ



6月28日、大蔵谷出身でニューヨークに在住の又川美智恵さんが町長室を訪れ、梶原の発展のために役立てて欲しいと寄付の申し出をされました。

町としては、ふるさとづくり寄付金として「梶原町に住みたい、住み続けたいと希望するまちづくりを未来にわたりに実現していくための事業」に活用させていただきますことといたしました。本当にありがとうございました。

又川さんは、「町の広報を見て、発展していくふるさとに誇りを持ち、また、今年千百年を迎えたふるさと梶原の歴史を引き継いでいくその取り組みにも感銘をうけられた」と話されていました。ご自身も家系に興味を持たれ、調査



をされているなかで、ふるさとへの寄付を思い立ったということです。
又川さんは、明治大学を卒業後アメリカに留学し、デザイナーとしてご活躍されています。

寄付お礼

このほど、次の方々から寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

広報へのご寄付

Laura Tasharofi 様
オーストラリア

示野 正道 様 高知市神田

久岡 義雄 様 高知市秦南町

その他のご寄付

南部 篤見 様 六丁

故・南部鉄子氏香典返しとして社会福祉へ

永尾 清子様 本も谷

故・永尾義行氏香典返しとして社会福祉へ

西村 正文・幸美 様 松谷

梶原学園の子どもたちの「読書力と国語力の向上」のために「西村・川越文庫」図書の実践に「寄付をいただきました」。

8月の行事予定

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1日(木) あゆ解禁
(とあみ・なげあみ・しゃくり等) | 20日(火) 梶原町交通安全の日
小学校水泳記録会 |
| 2日(金) 小動物収集 | 21日(水) 人権相談・行政相談
小学4年生体験合宿 (23日まで) |
| 4日(日) 歩こう会 | 28日(水) 東区・初瀬区総合健診 |
| 10日(土) 環境整備デー | 29日(木) 東区総合健診 |
| 13日(火) 献血 | 30日(金) 小動物収集
西区総合健診 |
| 14日(水) ふれあい夜市 | |
| 15日(木) 高原まつり
第18回平和の礎に感謝する集い | |

文芸

杉の子俳句会

街路樹の咲く木咲かぬ木山法師 氏原 陽子
 郭公の声の余韻や里の朝 野 案山子
 朝市の豆腐こんにやく花菖蒲 西村 幸枝
 ユニクロも酒の佐野屋も更衣 徳永 逸夫
 田植え終え亡母は配ったお赤飯 久光 義恵
 鮎おどる川鶉一気に潜水す 下元 廣幸
 早起きやかぼちゃの花とうりの花 西村 蓉子
 釣り人の穂先の上や合歓の花 影浦 鉄心
 梅雨晴間あちらこちらに押し車 小崎みなと
 梅雨晴間友呼び走る下校生 吉村 招山
 宮島の千畳閣の端居かな 内野 純子
 縁側にきのこのまゝの籠枕 山口 立野
 「超きれい」叫ぶ少女の蛍狩 久岡 智子

えぼし俳句会

青鳶や会釈して行く若夫婦 ヒネ・バンビ
 健やかに妊婦野苺食みいたり 宇都宮由利子
 我が腑蹴る胎動しかと草いきれ 宮崎真由子
 噴きやまぬ伊豆の大井の清水 前田 茂子
 十歳と卒寿の田植雨上がる 中越 律子
 いささかの迷いも持たず鳶若葉 瀬戸口登貴恵
 廃屋の形のままだに蔦茂る 西村 智子
 青鳶や泣くも笑うもひとりなり 温地あゆみ
 手をつなぎ絵本売場の夏帽子 千光寺昭子
 万緑や風より軽く小鳥翔つ 山内 恵美
 咲き満ちて身じろぎもなし花菖蒲 岩元 芙美
 靴擦れの足労りて山清水 古野 節子
 幾星露経て山清水四万十川へ 下村 弘花
 青鳶が額縁となるガラス窓 下元 澄子
 黝々と幹はちからを柿若葉 岩井 章子

柚子の木俳句会

定年の主迎える柚子の花 鎌倉 安弘
 踏み倒し歩く近道薊道 広瀬 宗子
 水草追う合鴨日ごとたくましく 広瀬 みえ
 ネジ花を愛した母の七回忌 佐竹 重子
 ぐいのみでひと花咲かす花薊 西森 誠子
 むらさきのあざみがにあう黒あげは 中越 緑
 思い出は私を刺した薊の葉 中平 忠雄
 父の日に炭火囲んで三世代 中越 郁子
 身の透けて蜘蛛の子つづく山門へ 渡辺 瑞枝
 風の蝶とばされつとも飛びゆけり 西村由利子

託老所「陽だまり」

かわいいね目鼻口をかいてアクセサリー
 骨休み聴きつつ話音楽を
 しばらしいご飯とっても陽だまりの

栲原みどりの家

（俳句）
 雲の上霧雨降りて芝さんを
 （川柳）
 夕飯やわしはおまえのそばがよい

岡村 和躬

おめでたとかなしみ

出生

住所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者氏名
六丁	高橋 優奈	女	H25. 6. 20	高橋 宗
大蔵谷	那須 秋仁	男	H25. 6. 21	那須 一大

死亡

住所	死亡者氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
後別当	西村 袈裟見	女	H25. 6. 3	92	本人
中の川	廣瀬 一郎	男	H25. 6. 11	88	本人
広野	芝 幸子	女	H25. 6. 19	80	本人
上西の川	中越 義重	男	H25. 6. 30	87	本人



栲原千百年物語

出演団体
神楽特集

津野山古式神楽

～高知県津野町・津野山古式神楽保存会～

津野町は四万十川の源流点であるとともに新莊川の源でもあり、清らかな川の流れをもち、後背に四国カルスト天狗高原や鶴松森を有した自然が豊かな四季折々の表情が素晴らしい地域です。

津野山古式神楽は延喜13年(913)に藤原仲平の子基高が高知へ入国し伝えたものといわれています。

津野山地方は旧の東津野村と現在の栲原町の区域のことで「津野山神楽」とはこの地方に残っている神楽を他の神楽と区別するために呼ぶようになったものと思われます。

栲原町と東津野に伝わる神楽はもともと同じルーツであったものですが年代を追うごとに舞い方や神歌の節回しなどに相違がでてきております。

昭和55年の土佐の神楽8件とともに国の重要無形民俗文化財となっております。

4月7日に行われた【栲原千百年物語り神楽大会】では、「山探し(やまがし)」「大蛮(だいばん)」の2演目をご披露いただきました。

【山探し】



【大蛮】



編集後記

「xtyouなら、xtyouならー」
田の畦で草刈りをしていた私に、下の道路から懸命に呼びかける声、振り向いて見下ろすと、下校中の女の子。仕事をしている私にまで挨拶をしてくれる純真さに心打たれて、下へ降りてしばし会話を楽しんだ。別れた後、暑さも疲れも忘れるほど、心にさわやかな風が立ったのを今も覚えている。時は流れて、あの女の子も優しく美しい女性に成長したのだろう。

七月は梅雨が明けて本格的な夏が到来し、この広報がお手元に届く頃には、県下の学校は殆ど夏休みに入っている。長い夏休み、子供達は学校を離れて地域へ帰ってくる。数少なくなった子供達を地獄ぐるみでどう見守っていくか、どう関わっていくか具体化が課題となるが、気負わずに気軽に考えてみてはどうでしょう。

平凡なようだが、挨拶は、「あなたは良い子。大切に思っていますよ。」という気持ち伝える絶好の機会。夏休み中に地域で子供を見かけたら、大人の方から近寄って声がけをし、温かく見守っていくようにしたい。

子供達が健全な夏休みをすごして、心身共にひとまわり大きく成長することを願っている。

広報編集委員会

地域特集

梶原人の絆がつなぐ伝統文化

茶や谷の里に、
今もなお継承されている「虫送り」

6月の雨上がりの夕方、「トントンカン、トントンカン」山の上から、大きな太鼓と鉦（かね）の音と共に30人ほどの人々が持つ火の行列が下りてきます。先頭は、のほりを持つ地元の小学校1年生の中岡暖平君です。赤々と燃える炎の行列は、田畑の中を縫うように練り歩いてきます。

6月29日の夜、茶や谷地区の伝統行事「豊作を願う虫送り」です。

当日は、午前中雨模様でしたが、午後からは雨もあがり、今なお茶や谷地区に継承されている伝統行事「虫送り」が盛大に行われました。

地元の郷土史家鎌倉安弘さんにこの「虫送り」の行事についてお話を聞きしてみますと、この「虫送り」は、稲の害虫を防除するための農耕儀礼のひとつで、地区を挙げて毎年6月29日に行われて来ているそうです。

この虫送りは、昔の人達の知恵で、誘蛾灯の役割も果たしており、農薬が普及するまでは全国的に行われていたようですが、最近ではあまり見られなくなりました。梶原町では、他に六丁地区と本も谷地区でも同日に地域を挙げて行われています。

また、鎌倉さんのお話によると、この「虫送り」にはいろいろな伝説があり、源平合戦の時代、木曾義仲が牛の角にたいまつを点け、平家軍の陣地に突入し大勝したその名残であったり、斉藤別当実盛が田んぼの稲の株につまずいて討たれ、その怨霊が稲の虫になって害を与えたため、それを鎮める「実盛の供養」として行われたという伝説が残っているそうです。

当日は、茶や谷地区代表の永橋恒雄さんにご案内を

いただき、この虫送りの行事に参加させていただきました。

夕方6時を過ぎた頃から、地域のご長老や子どもたちをはじめ多数の地域のみなさんが各家庭で作った竹を束ねたたいまつを抱え坂道を登ってきます。

顔を合わせた地域の皆さんは、今日の労をねぎらい、農作業の話などで話が盛り上がります。その周りで子ども達が歓声を挙げながら走り回っています。参加者の中には、「親が虫送りがあるき帰ってきいやと言うもんで20年ぶりに帰ってきて、この虫送りの行事に参加しました。」と笑いながらお話をしている人もいました。

永橋さんは、「虫送りがずっと続けられているのは、部落みんなの総意な事です。若い人も大変協力的で、虫送りは絶やしたらいかんと言ってくれます。これも地域の絆ですらうかね。」とお話されていました。



たいまつに火をつけて準備

また、この虫送りの行事に参加していたある小学生は、「楽しかった。またやりたい。」、ある中学生は、「一列の火がとてもきれいでした。地域の人達との交流ができました。」、ある高校生は、「もしここに残っていたら虫送りはずっと続けるつもりです。」とさわやかな表情で感想を語っていました。

今年、梶原町は、開祖津野経高公が梶原に入国以来、一千百年の節目の年を迎え、「梶原千百年物語り」としていろいろな取組が行われています。

その中で、梶原町では、地域の皆さんの絆がつなぐ伝統文化「虫送り」の行事が先祖代々、子どもたちから孫へと引き継がれ、さらに未来に向かって引き継がれようとしていることに大きな喜びと感動を覚えた一日でした。

茶や谷の里の壮大な虫送りの炎の行列は、下組との境の川原に到着し、たいまつは、一か所に集められ大きな炎となつて燃え上がりました。

その大きな炎を見つめ、自然の恵みや先人のご尽力に感謝し、五穀豊穡と無病息災をお願いしながら地域の皆さんは家路へと向かいました。

「今年も豊作でありますように!」、「今年も健康で暮らせませすように!」。

取材 西村幸美広報委員



虫送りの行列